

## 第19回党大会後の中国

東京大学大学院法学政治学研究科教授

高 原 明 生  
たか はら あき お

- \* 中国では「党が国家を領導」する
- \* 党大会における人事のルール
- \* 党イデオロギーの持つ意味
- \* 集団指導から習一強体制へ
- \* 毛沢東以来の「習思想」正統化
- \* 「党の領導」強化の背景
- \* 実践は真理を検証する唯一の基準
- \* 権力掌握で外交に余裕
- \* ひたすら下手に出たトランプ
- \* ネット情報の管理を徹底



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は毎年来ていただいておりますのでお馴染みになりました東京大学の高原先生に来ていただきました。大分前にお声掛けしたのですが、党大会が終わった後にしようということですが、になりました。1年ちょっと前にこちらへお呼びしたときに雑談で習近平の後はどういいう人がいるのですかとお訊ねしたら、「習近平の後は習近平です」と一言おっしゃいました。まったくそのとおりに展開したわけです。好き嫌いはいろいろありますが、あの国がちゃんとしていただかないと日本は困るわけです。しかし、どうも状況はあまり芳しくないようです。そういうことも含めて、中国がどこへ行くのか、現状がどうなっているのか、いちばん的確に教えて

いただける先生をお呼びしました。是非じっくりお聞きいただきたいと思っております。それでは高原先生よろしくお願いいたします。（拍手）

中国では「党が国家を領導」する

高原 ご紹介まことにありがとうございます。いつもながらここへ来ますとたいへん緊張します。皆様の中には私よりもずっと中国について深く理解されていらっしゃる方が何人もいらっしゃると思えますので、なるべく早く私の話を終えて、皆様から忌憚のないご批判や、ご意見、ご質問をお受けしたいと思っております。

言うまでもなく、党大会は中国ではいちばん大切な会議です。どうしていちばん大切なのか